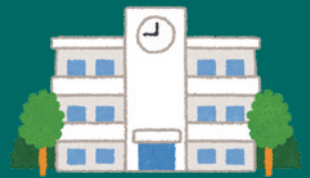




五霞西小学校

元気いっぱい！ ごかつ子情報



町内の小・中学校で行われた取り組みや行事などを紹介します。
今月は、五霞西小学校を紹介します。

農業体験

五霞西小学校では、教科横断的な学習の中で、「農業体験」を行っています。本校の評議員である、鈴木昇様に全面的にご協力及び、ご指導をいただいています。

校内に、菜園があり、一・三・四年生は、サツマイモを中心に、さといも・なす・モロヘイヤなどの苗を植えて収穫までを行います。今年度の四年生は、学校が統合したときに、お祝いのお赤飯を炊けるようにと、大角豆（ささげ）の苗をいただき、植えました。

六年生は、ジャガイモを栽培し、男爵・きたあかり・メイクイーンと種類ごとに収穫



穫し、お釜で蒸して「じゃがバター」にしてくださいました。あつあつ、ほくほくのごちそうです。収穫の後の畑には、「丹波の黒豆」を植えました。

二年生は、B棟の周りの花だんを利用して、ミニトマトやキュウリ、なすなどを育てています。

そして、農業体験の中心となるのが、稲作体験です。

五年生が田植えから稲刈りまで、そして実際に食べる状態の米になるまでを学習します。最後に、収穫した後のわらを使って、昔からある技法で正月用の「お飾り」を作ります。

日本の主食である稲作体験を通して、日本の文化を理解し、郷土を愛する心が育まれています。



広々とした水田で

昨年からは、今までの学校の水田とは比較にならないくらい大きな水田となりました。

最初に機械での田植えを見学し、現在の田植えと稲作について説明を受けました。その後は、広々とした水田に入り、お手本の苗の列に合わせ、手作業で田植えを行いました。初めは、喜びで騒いでいた子どもたちも、しばらくすると黙々と田植えをするようになり、植えていない場所を見付けては、全面に苗を植えることができました。ふぞろいなところもありましたが、充実の体験活動となりました。



子供たちの声

難しかった田植え

五年 松本 旺大
ぼくたちは、川妻の大きな水田で、田植えをしました。最初は苗を真っ直ぐに植える

楽しかった田植え

ことが難しかったのですが、だんだん楽しくなってきました。土の中に足を入れたこと、田植機に乗ったこと、初めてのことも多く、楽しかったです。
夏休みには、稲がどうなっているのか見に行けたらいいなと思っています。また、九月に稲刈りをやると聞いてうれしくなりました。また、田植えをやってみたいです。

五年 植竹 美樹

学級のみんなで田植えをしました。最初は早くやりたいと思っていましたが、いざやってみると、苗をしっかりと植えることが難しいし、服や手足もよごれるので、とても大変でした。土ですべて半ズボンを思いきりよごしてしまいました。でも、みんなが田植えをがんばっていたので、私もがんばりました。
苗を植え終わった水田は、とてもきれいに見えました。私はこの体験で、お米を育てる難しさや大切さを感じることができました。